

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

1. 基本情報

■事業の担当課	商工部商業観光課		■担当係	商業係
■評価事業名称	中小企業融資利子補給金			
■事業開始年度				
■評価事業コード	060200 - 212	■会計区分	一般会計	
■総合計画での位置づけ	■政策	03 ひと・技・資源を組合せ活かすまねるまちづくり		
	■基本施策	02 活気ある商工業と観光の振興		
	■施策	03 活気ある商工業の振興		
■事業の類型	06 負担金・補助金(任意・ソフト事業)		■政策・業務区分	政策
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの			
■法令等の名称				
■関連計画の名称				
■事業の目的と概要	中小企業の事業資金の円滑な運用による商工業の振興。北上市中小企業融資の適用を受けた者に対し、市が定率の利子の補給を行う。			

2. 細事業の活動実績情報

細事業コード	細事業名称	事業の対象	平成29年度事業計画	平成29年度事業量実績
01	中小企業融資利子補給金	取扱金融機関(中小企業者)	利子補給金額:17,000千円 利子補給件数:800件	利子補給金額:10,716,476円 利子補給件数:611件

3. 投入コスト情報

(単位:千円)

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	備考
直接事業費	19,694	15,279	12,001	10,720	
人件費	1,936	1,638	901	1,221	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	21,630	16,917	12,902	11,941	

4. 評価指標等の状況

指標コード	指標名	26年度	27年度	28年度	29年度	指標の説明
	利子補給1件当たりコスト	15.8千円	15.3千円	15.4千円	17.5千円	
	利子補給金額	19,690千円	15,268千円	11,996千円	10,717千円	
	利子補給件数	1,246件	1,002件	781件	611件	

事務事業事後評価シート[平成29年度事業]

商工会議所会員数	2106	2,081	2,045	2,018	H16(実績):2,302(北上1,797、和賀282、江釣子223)、H20以降現状維持
利子補給額1円当たりコスト(フルコスト/直接事業費)	1.10	1.11	1.08	1.11	

5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ)

■目標達成状況

- A. 順調
- B. 概ね順調
- C. 遅れている

達成状況の分析

平成24年度より県制度融資制度への利子補給を開始したことにより、市制度への補給の件数及び金額が減少している。

問題点・課題等

実行が無くなることはないと思うが、今後も県制度へ移行しているため、利子補給金は減少すると思料される。

1. 直接的な受益者の範囲

- 不特定多数に及ぶ
- 特定されるが多数に及ぶ
- 特定少数に限定される

2. 国・県・民間との競合関係の有無

- 類似の事業はない
- 類似の事業はあるが競合はない
- 類似の事業があり競合する

3. 事業廃止の影響

- 大きな不利益やリスクが生じる
- ある程度の不利益やリスクが生じる
- 不利益やリスクは小さい

4. 市民生活・企業活動への影響

- 市民生活・企業活動の維持に不可欠
- 市民生活・企業活動の維持の向上に必要
- 市民生活・企業活動の維持の向上への影響は少ない

5. 事業廃止の影響を受ける受益者の割合

- 1. で選択した人の大多数(70%程度)
- 1. で選択した人の半分程度(50%程度)
- 1. で選択した人の少数(30%程度)

6. 事業へのニーズの変化

- ニーズが高まっている
- ニーズは変わらない
- ニーズが低下している又は合致しない

7. 施策の改善需要度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

8. 施策の優先度(市民意識調査)

- 順位が高い
- 順位が中程度
- 順位が低い

9. 他市町村に比較しての優位性

- 先進的またはユニークな事業である
- 他と同程度の事業である
- 遅れている事業である

10. 実施主体の代替性

- 民間委託等の拡充は難しい
- 民間委託等の拡充が十分に可能
- 全部委託や実施主体の移行が可能

11. 経済性・効率性の向上

- 今以上の効率化や改善は難しい
- 効率化や改善を図ることは十分に可能
- 効率化や改善の余地が大きい

■事業の見直し方策(評価項目2.4の補足説明含む)

市制度融資の利用状況を注視しながら継続

■今後の方向性

- I. 拡充
- II. 継続
- III. 縮小
- IV. 廃止・休止
- V. 完了